

Microsoft Office ファイルが破損した場合等の回復方法

基本的に自動回復用ファイルが保存されるように設定されているので、その場所を探して保存されているファイルで復活させる。

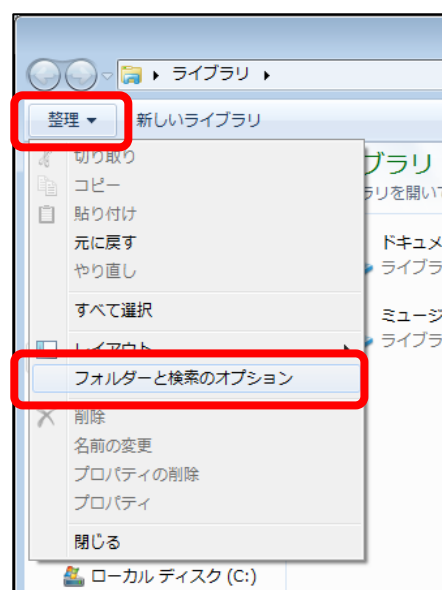
(設定されている場所は、各ソフトウェアの「オプション」の「保存」にある。デフォルトでは、「10分」毎に指定のフォルダに保存するように設定されている。上書き保存をしなかった場合は、最後に自動保存されたファイルが、4日間、保存されるようになっている。)

1 自動回復ファイルが保存されている場所は、一般的に見えないように設定されているので、見えるように設定を変更する。

① 「コンピューター」又は「エクスプローラー」を開く。

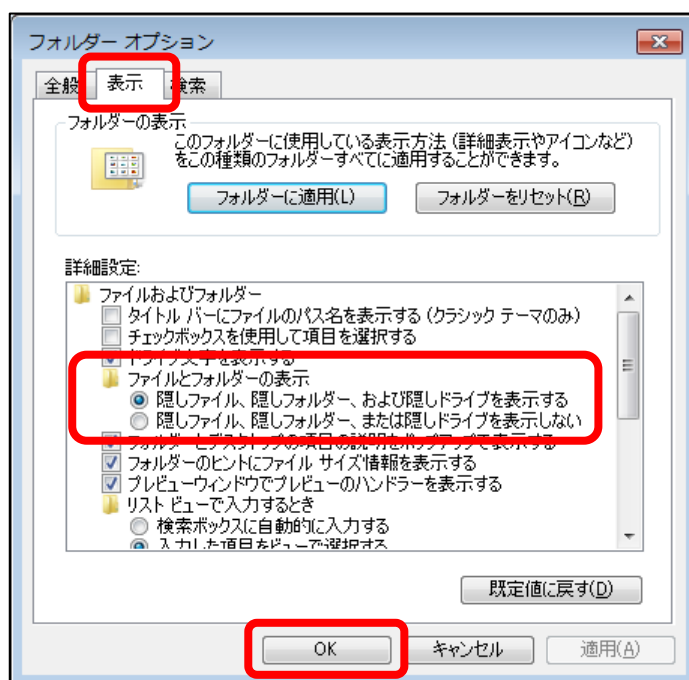
② 左上の「整理」をクリックする。

③ 「フォルダーと検索のオプション」をクリックする。



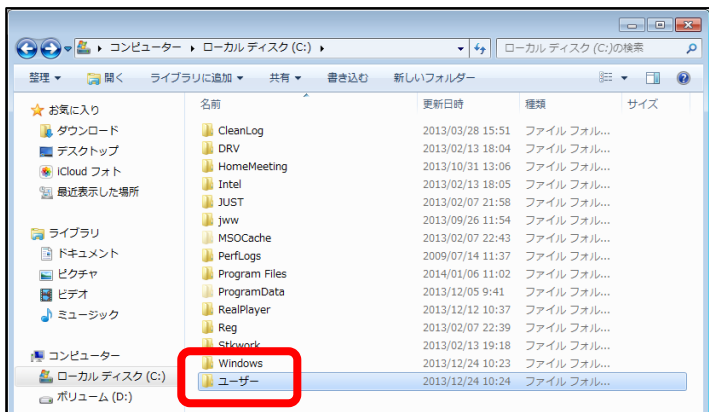
④ 左上の「表示」タブをクリックし、「詳細設定」の中の「ファイルとフォルダーの表示」の下にある「隠しファイル、隠しフォルダー、および隠しドライブを表示する」にチェック (青●) がつくようにする。

⑤ 「OK」をクリックする。

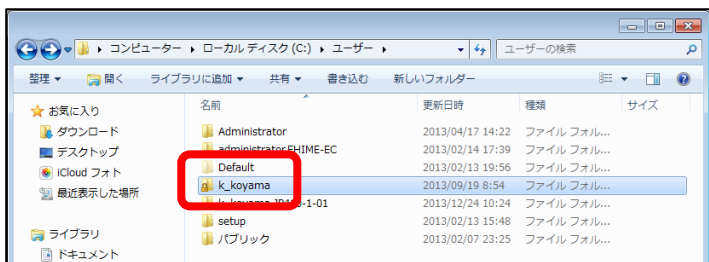


2 該当するファイルを探して、開き、保存する。

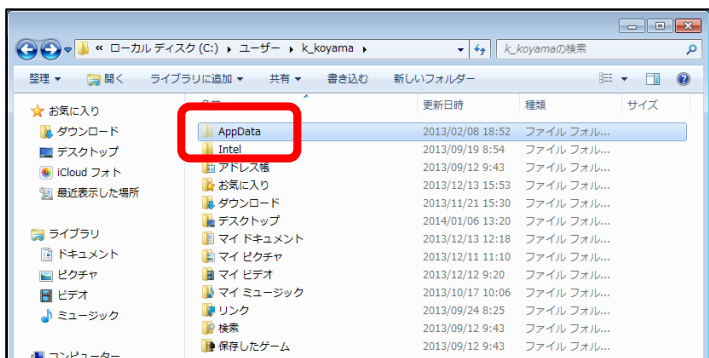
① 「コンピューター」又は「エクスプローラー」から「Cドライブ」を開く。



② 「ユーザー」をダブルクリックする。

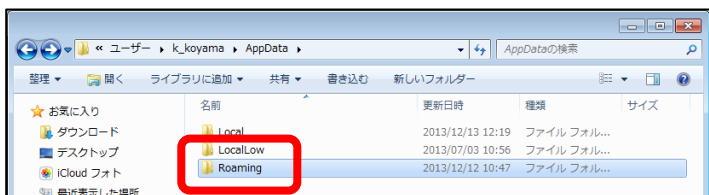


③ ログインユーザー名をダブルクリックする。(フォルダアイコンに錠前のマークがついている。)

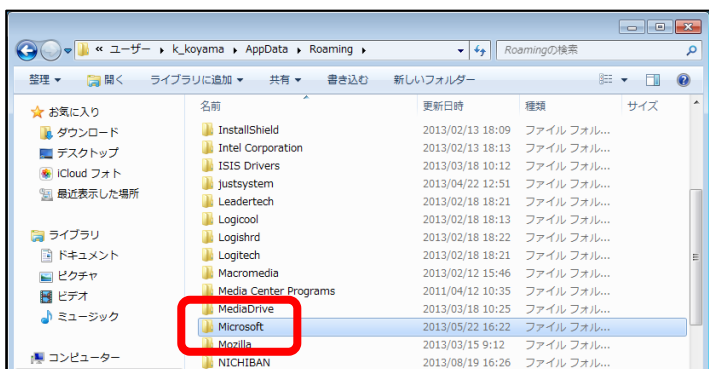


④ 薄いアイコンの「AppData」をダブルクリックする。

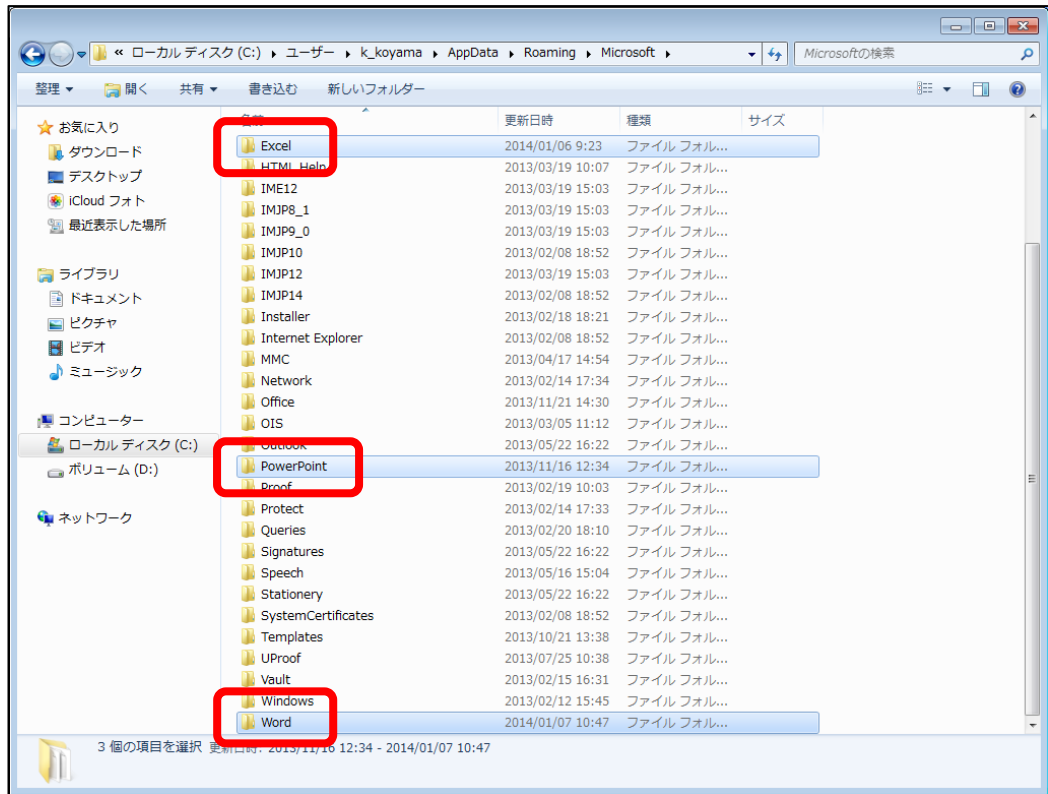
⑤ 「Roaming」をダブルクリックする。



⑥ 「Microsoft」をダブルクリックする。

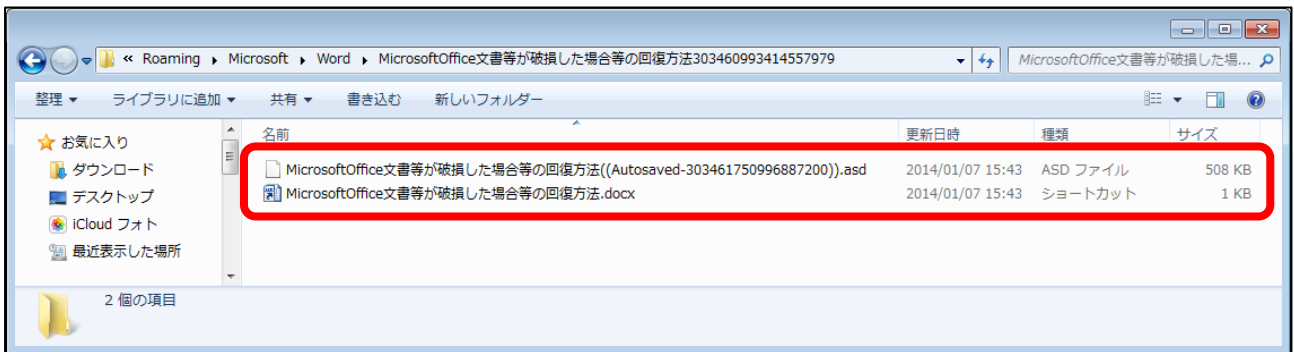


⑦ 「Excel」「PowerPoint」「Word」から、回復したいファイルがあるフォルダをダブルクリックする。



⑧ 編集していたファイルのショートカットがあるので、それをダブルクリックして開き、内容を確認する。

(「〇〇〇 ~ (英数字).asd」のように拡張子が「.asd」のファイルしか無い場合は、該当するソフトウェアを立ち上げた後、「開く」で上記①~⑦を行い、該当するフォルダにある「.asd」ファイルを選択すれば再編集することができる。)



⑨ 間違いがなければ、別名で「名前を付けて保存」する。